

## 地域に根ざした

# 自律・持続型まちづくりプログラム

変容する社会に適応(resilience)する次代の軸となる  
経済循環型産業興しと  
オールステージ対応型まちづくりをめざして

青山Hicon & Japa [窓口:小畑理事]

## 背景・目的・特徴

### ■ 背景[問題認識]

- なぜ、日本・地方は衰退するのか。なぜ、地方創生がうまくいかないのか
- なぜ、まちづくり（実態と仕組み）にギャップが生じるのか
- 国際的な潮流変化（変容）は、日本・地方・まちづくりにどう影響するのか
- 次代の基軸とすべき自律・持続的なまちづくりをどうすれば実現できるか

### ■ 目的

- これまでの国主導の地方創生から、地方主導（経済的自立・政策的自律）の地方創生へ脱皮/切替すべく、地域に根ざした産業興し・まちづくり(社会システムデザイン)を持続的に行うための人・組織・仕組みづくりを行い、実践に向けての道筋をつける。

### ■ 特徴

- 大学教員と実務専門家による包括的かつ実践的なものの見方・考え方・手法を学べる。
- 国際－日本－地方－地域/コミュニティ/市民の視点での学ぶができる。
- 地元の実情に応じた実践に向けての道筋（財源調達案/事業計画案等の作成）が創れる。
- プログラムの参加要件である「地域のステークホルダーがProjectチームを編成し参加する」こと自体が組織連携の実践的訓練（人材・組織育成）となる。
- プログラム終了後も、実践（財源調達・事業実施）の伴走が受けられる。

# 体制

## ■ プログラム代表

- 玉木欽也 [青山ヒューマン・イノベーション・コンサルティング(株)社長、青山学院大学経営学部教授]

## ■ 参加者[有料・募集] ※個々ではなく、地元の協働Projectチームとして参加

- 基礎自治体担当者：政策課 ← 首長によるバックアップ
- 地域金融機関、地元リーダー企業（中核企業）、ベンチャー/スタートアップ企業
- 地元シンクタンク、地元大学 研究室（教授・研究室学生）、NPO、商工会
- Projectリーダー/ファシリテーター：上記の中から適任者

## ■ サポート

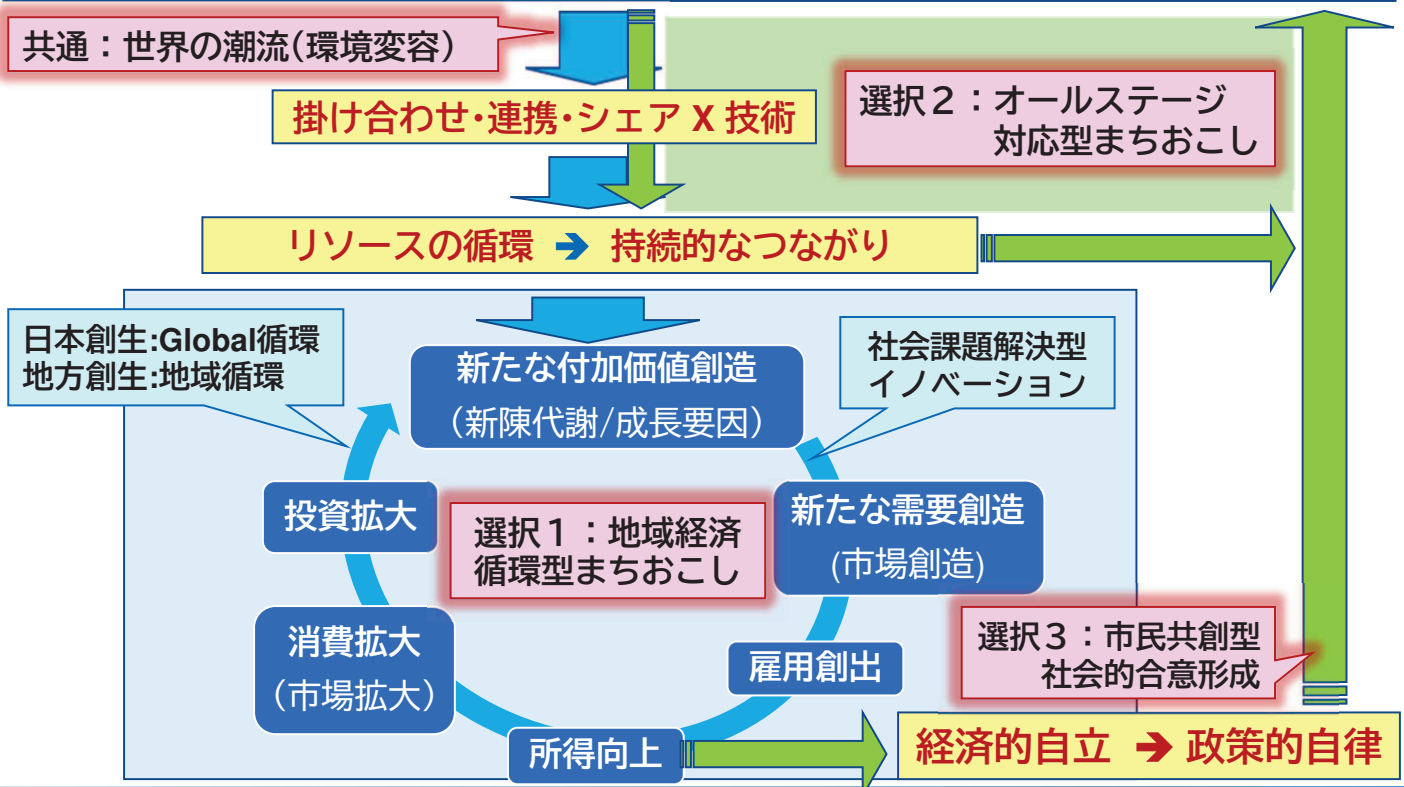
- 青山学院大学 総合プロジェクト研究所、SDGs/CEパートナーシップ研究所、学内外ゼミ
- Japa会員（専門家・連携団体）& 関係専門家 募集
- プロモーション支援：募集 ※専門家の付き合い先紹介、企業版ふるさと納税の活用等

## ■ 事務局

- 青山ヒューマン・イノベーション・コンサルティング(株)
- Japa日本専門家活動協会（窓口：小畑 理事）

# 人口減少が続く日本/地方の自律・持続に向けたマインドチェンジ

そこにしかない日本・地方の宝（歴史 X 資源 X 人）→ 地産地消 X 地産他消  
自然・歴史・風土(学び・健康)・芸能、生活文化、芸術・職人・地場産品 等



# プログラム概要 [共通 + 選択 (Project-Based Learning: 課題解決型学習)]

## ■ [共通] 世界の潮流(環境変容)の体系的理解と日本・地方への影響の理解

- 日本・地方を取り巻く多様な環境(社会・気候・技術)、手法(OODA、レジリエンス等)等の動向・変容等を理解し、今後の対応の意識の切り替え(成長から持続、well-being、Beyond GDP等)を行う。

## ■ [選択1] 地域経済循環型産業興し ※Projectチームの地域に応じたPBL

- 地産地消化による地域資産・資金の外部流出の極小化、地域ブランド創生を行い地産外消化による地域住民の雇用創出・所得向上を図る仕組みづくり、道筋づくりを行う。

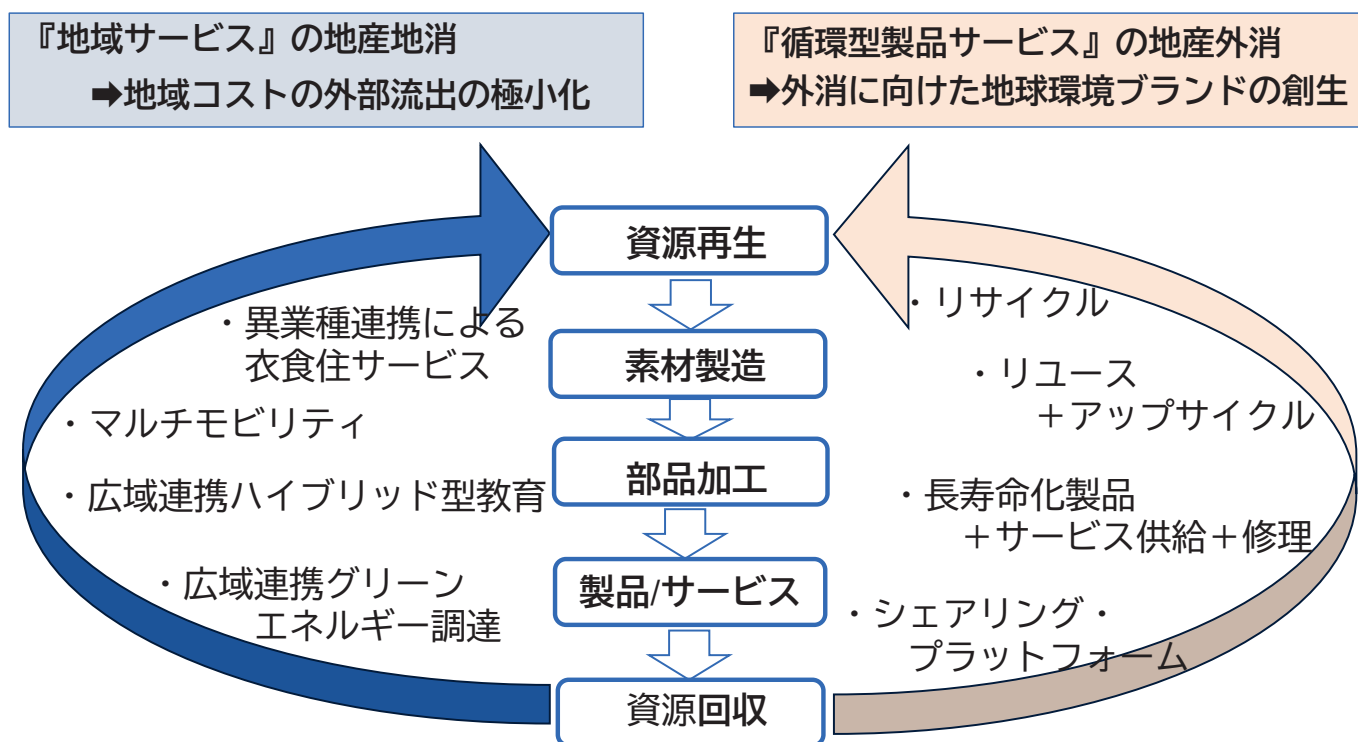
## ■ [選択2] オールステージ対応型まちづくり ※Projectチームの地域に応じたPBL

- 全世代(オールステージ)対応の修学・就業・生活サービス(医療・福祉・介護・ヘルスケア・スポーツ)を地域のリソース(自然・歴史・風土・文化・芸術・芸能等)と組み合わせることによりwell-beingなまちづくり(社会システムデザイン)の仕組みづくり、道筋づくりを行う。

## ■ [選択3] 市民参加・共創型の社会的合意形成の仕組み「知恵ラボ」の実装

- デジタル社会に相応しい、市民主導により問題提起し、オープンに知恵を出し合い、解決策(選択肢)を導出し、公的な政策起案につなげる仕組み「知恵ラボ」(Webシステム + ファシリテータ・専門家)の実装を行う。

## 選択1: 広域連携・異業種連携による地域経済循環型産業興し



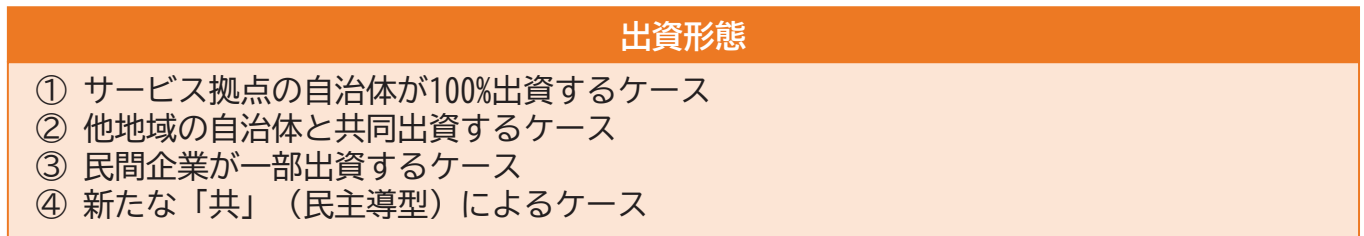
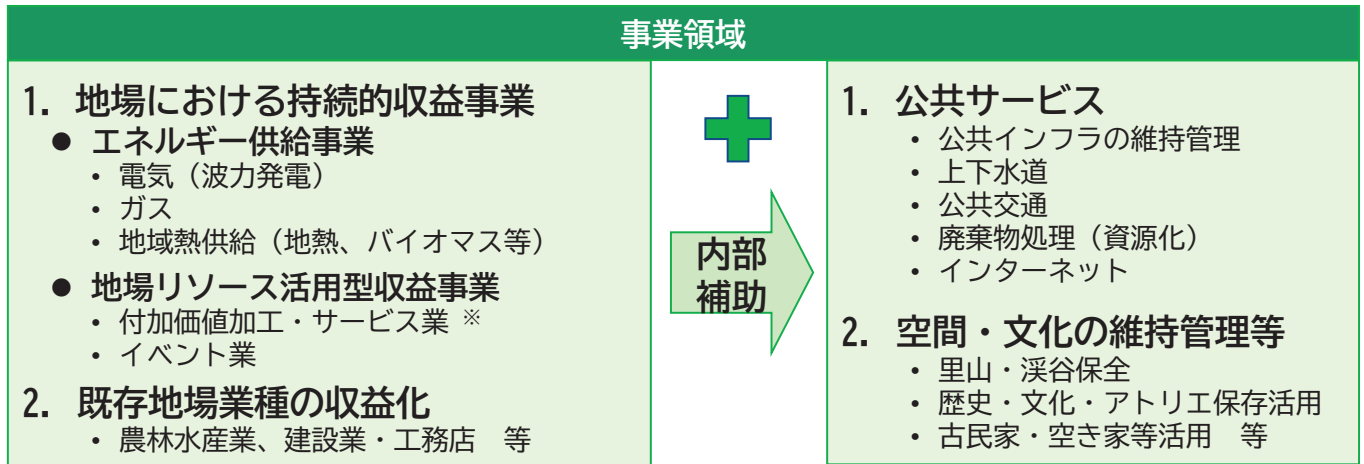
- 再生可能資源 : 産業の循環型 1次産業 (ゴミが資源) + 再生可能エネルギー
- 枯渇資源 : 産業の循環型 3次産業 (材料、製造業、流通業)

# 参考：公共事業の地産地消の事例

## ～ドイツのシュタットベルケ(STADT WERKE まちの事業)～

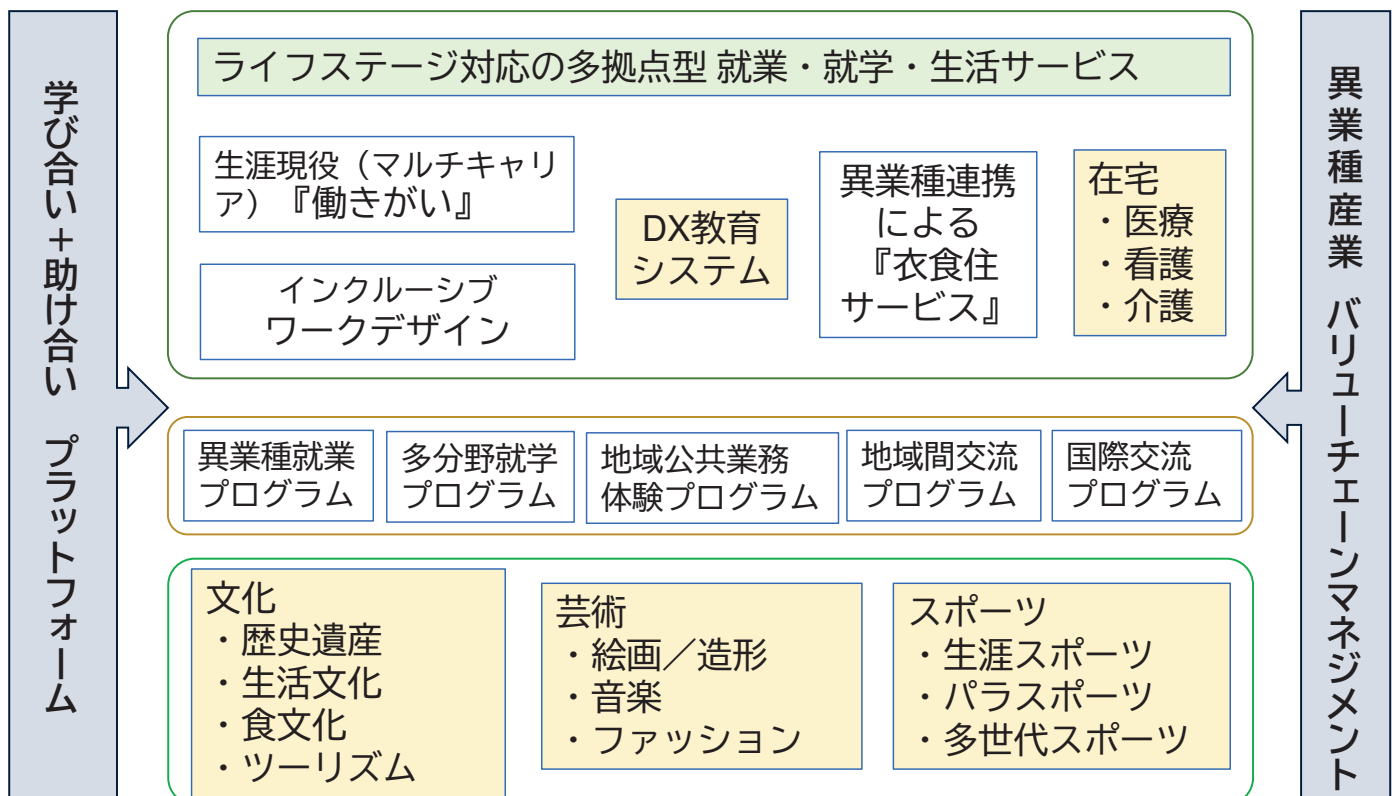
### ■ 地域密着の公共サービス提供を目的に、複数のサービス提供を1つの事業体で行なうことで、受益者負担（内部補填）の形をとる公社

- 日本版事例 (株)町おこしエネルギー [https://www.yhmf.jp/as/.assets/ADST88\\_22\\_SF04\\_Numata\\_Interview.pdf](https://www.yhmf.jp/as/.assets/ADST88_22_SF04_Numata_Interview.pdf)



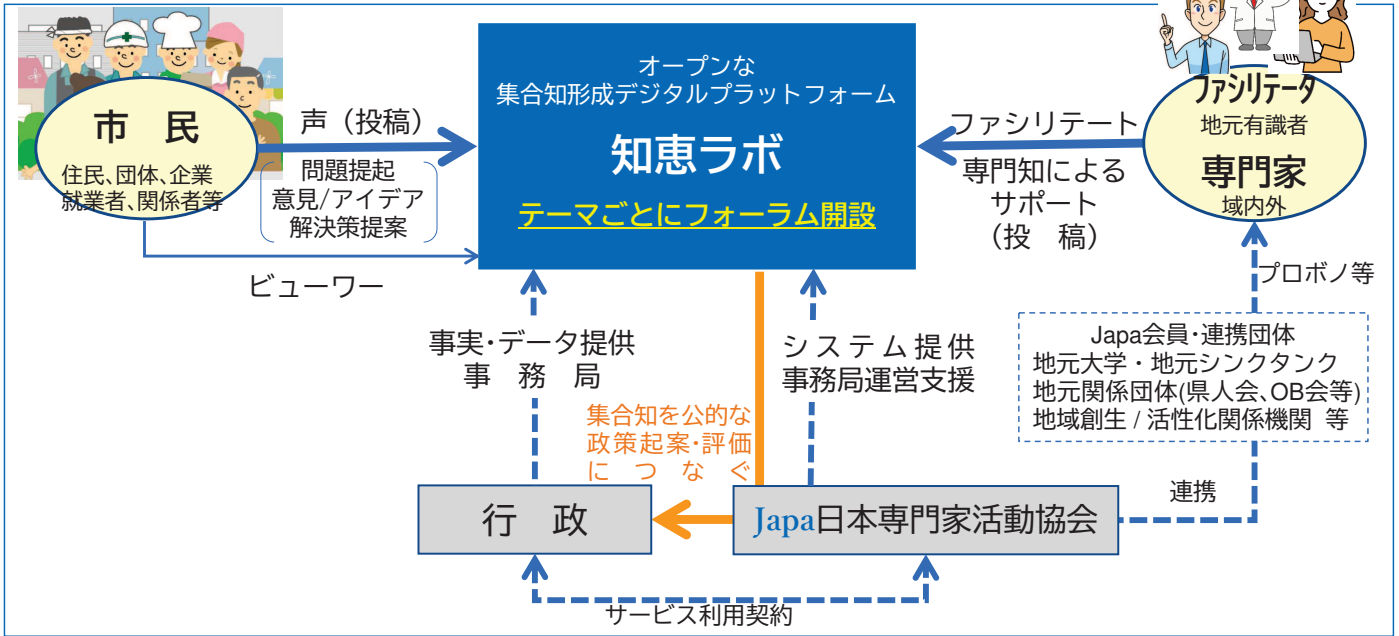
## 選択2: オールステージ対応型まちづくり(社会システムデザイン)

### ■ 「医療・福祉・介護・ヘルスケア・スポーツ+文化・芸術+自然・歴史・風土・芸能+学び」等の組み合わせ



# 選択3: 市民参加・共創型の社会的合意形成の仕組み「知恵ラボ」の実装

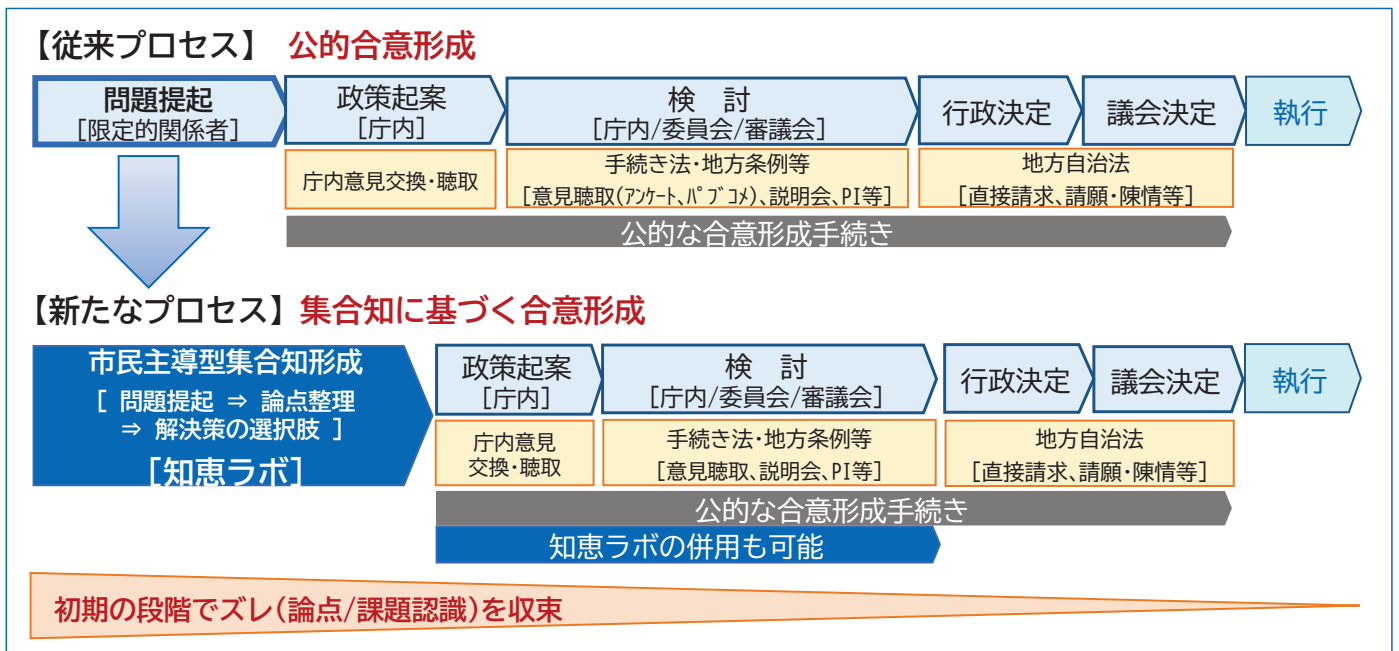
1. IT技術を活用し、隠れた声を含め、市民の声（総意）がわかる。
2. 事実・データをベースに、ファシリテータ・専門家も参加した形で“やりとり”が出来る。
3. デジタル場（Virtual社会）を介して、リアル社会でのつながる機会の拡大のきっかけとなる。
4. 知恵ラボの地方展開を通じて、全国（地方）の多様な専門家の活躍の場を興し連携できる。



## 補: 「知恵ラボ」の合意形成プロセスにおける位置づけ

■「知恵ラボ」は、「公的な合意形成」の前段階において、市民主導型の「集合知形成」（課題解決策の代替案）をデジタル技術を活用して行い、「市民総意」として、公的な「政策起案」につなげる市民との共創的仕組みのツール。

※この仕組みは、起案時の「庁内意見交換・聴取」、検討段階の既存の住民への「意見聴取」においても活用できる。



# プログラム[研修 1年間]の成果物

+ 専門家アドバイス(有料:参加会員価格)

## ■ 選択1 「地域経済循環型産業興し」の成果物

1. 地域公共サービスの地産地消型『[事業コンセプト企画案](#)』
2. 地域資源を活かした地産他消型『[ブランド商品企画案](#)』
3. 地域経済循環型産業興し『[未来事業構想案](#)』

## ■ 選択2 「オールステージ対応型まちづくり」の成果物

1. 若者志向「文化・芸術・スポーツ+学び」の『[社会システム案](#)』
2. 生涯現役/障がい福祉/LGBTQ対応の『[インクルーシブワーク案](#)』
3. オールステージ対応型まちづくり『[未来事業構想案](#)』

## ■ 選択3 「合意形成まちづくり・知恵ラボ」の成果物

1. 「オープン行政 + 市民の声・思い+各種専門家サポート+地域企業」の『[集合知プラットフォーム・知恵ラボの設計仕様・開発](#)』
2. 『[知恵ラボの運用](#)』による具体の地域課題に対する『[ソリューション案・未来事業構想案](#)』

# 研修受講後の未来社会事業化Goal+伴走型コンサルティング

## ■ 「未来事業構想案」のブラッシュアップ

➔ 『アクションプラン』の策定

## ■ 未来社会事業化の組織体制の整備

- 異業種産業連携、産官学連携、広域連携、国際連携
- プラットフォームの運営管理： 「オープン行政+市民の声・思い+専門家サポート + 地域企業」の連携

## ■ 資金調達

- 上記組織体制を活かした「ジョイントベンチャー事業出資」
- 企業版ふるさと納税/クラウドファンディング
- 地方交付金、助成事業、補助金事業の申請準備

## ■ 事業運営管理を担う推進事務局の設置および支援協力体制

- プログラム&プロジェクトマネジメント+各種専門家サポート+学生参加プロジェクト

# プログラムの進め方 1/2

## ■ 参加申込み

- 参加の目的・問題意識等の確認
- Projectチーム体制・役割の確認 → Projectチームとして参加申込

## ■ プログラム編成

- 共通（オンライン講義Zoom）  
+ 選択（PBL: Project Based Learning=課題解決型学習）

## ■ **共通** 世界の潮流（環境変容）の体系的理解と日本・地方への影響の理解

1. 日本・地方を取り巻く多様な環境（社会・気候・技術）、手法（OODA、レジリエンス等）等の動向・変容等を理解し、今後の対応の意識の切り替え（成長から持続、well-being、Beyond GDP等）を行う。
2. 地方・地域創生の現状と潮流（人口変化、産業変革、地域課題現状、ビジョン、地域戦略事例（国内、海外）、ビジネス戦略、人材戦略、IT活用戦略など）

# プログラムの進め方 2/2

## ■ **選択1** 地域経済循環型産業興し

## ■ **選択2** オールステージ対応型まちづくり

1. 現地視察 → 地域の実態把握・課題抽出・論点整理
2. 先進概念・手法・事例の学び
3. ソリューション代替案・仕組みのデザイン案の検討
4. 関連法制度・補助事業の研究
5. 事業企画案・補助金等申請書案作成

## ■ **選択3** 市民参加・共創型の社会的合意形成の仕組み「知恵ラボ」の実装

1. 現地視察 → 地域の実態把握・課題抽出・論点整理
2. 社会的合意形成に係る先進概念・手法・事例の学び
3. 知恵ラボの実装仕様の検討 → 開発 → 試行
4. 導入 → 運営サポート